

## NEWS RELEASE

2024年1月17日  
株式会社リビングくらしHOW研究所／株式会社サンケイリビング新聞社

### データ&ランキング「フォーカスリサーチ」

今ひとつ理解不足だから、これから勉強したい！「NISA 口座開設先」

**新 NISA 口座で利用したい！期待度 1 位「楽天証券」**

**店頭対応やカスタマーサポート体制 満足度 1 位「イオン銀行」**

**手数料・取扱商品 満足度 1 位は「SBI証券」**

**利用率、総合的な満足度 1 位は「楽天証券」**

株式会社リビングくらしHOW研究所と株式会社サンケイリビング新聞社が、多彩なテーマと切り口で実施する、データとランキングの消費者調査「フォーカスリサーチ」。今回は、2024年スタートの新NISAを見据え「NISA 口座開設先」についてのデータを発表しました。

2023年までの旧NISA口座利用率1位は「楽天証券」で、新NISA口座で利用したいという期待度でも1位となりました。また、店頭対応やカスタマーサポート体制の満足度1位は「イオン銀行」、手数料・取扱商品の満足度1位は「SBI証券」となりました。

＜スマートフォンで手軽に資産運用管理、バランスの良さが評価された楽天証券＞

#### 期待度

##### ■ 新 NISA 口座で利用したいのは？

- 1 位 楽天証券
- 2 位 SBI証券
- 3 位 ゆうちょ銀行



##### ▶ 新 NISA 口座で「楽天証券」を利用したい人のコメント

今回切り替える際に調べて、総合的にバランスが良さそう（43歳・女性）／ネットで簡単に手続きができ、現行NISAのまま移行させるため（36歳・女性）／情報も多く、不明なことがあった時に調べやすいから（36歳・女性）／もともと楽

天口座を持っていた。カード積立て等の優遇措置がある（51 歳・女性）／楽天サービスを使っているため、ひとつにまとめられるのが魅力（28 歳・女性）／専業主婦なので収入がないのですが、楽天証券は 100 円から運用でき、楽天ポイントでも運用できるようなので（56 歳・女性）

今回の調査では、新 NISA 制度の開始にあたり、口座を開設する予定は？という問いに、約 3 割の人が「今までの NISA の口座がある金融機関のまま」と回答しています。楽天ポイントなどの幅広いサービスが生活に浸透していることも期待度とリンクしています。また、男女別で見ると、女性は楽天証券が 1 位でしたが、男性は SBI 証券が 1 位となりました。

## 利用率

### ■ 旧 NISA 口座で最も多くの人が使っていたのは？

- 1 位 楽天証券
- 2 位 SBI 証券
- 3 位 野村證券



#### ▶ 「楽天証券」で旧 NISA 口座を開設している人のコメント

スマホのみで手続きできているため非常に便利。銀行も同じ系列で口座を作ったので現金化もスムーズにできる（33 歳・女性）／大手証券の手数料が高くて、ちょうど切り替えたところです。今のところ問題なく使えています！（43 歳・女性）／楽天銀行や楽天証券のアプリでまとめて資産や運用状況を確認できる（35 歳・女性）／手数料の安さと運用や管理の情報が豊富。わかりやすいのが運用に役立つ（76 歳・女性）／放っておくだけなので簡単。しかも楽天ポイントが貯まるのが良い（31 歳・女性）／独自のキャンペーンや特典が充実しているように感じました。利用者レビューも多く、手続きの際には助けになりました。取扱商品は他の会社に比べ限られるようですが、特に問題はない（35 歳・女性）

利用率を年代別で見ると、30 代以下の約 4 割、40 代の約 3 割、50 代の約 2 割が利用しています。特に、つみたて NISA 口座での利用が多く、全体の 34%を占めています。ポイント還元や特典、手数料について触れるコメントが多く、利用者のおトク感が選ばれている理由と言えます。また、スマートフォンで資産運用管理が手軽にできる点を評価する声も多くありました。

## 満足度

### ■ 総合的な満足度

- 1 位 楽天証券
- 2 位 SBI 証券
- 3 位 マネックス証券



#### ▶ 「楽天証券」の総合的な満足度のポイントは、ネットで手続きができる

点

手数料が安く、手軽にネットで完結するのが良い（40 歳・女性）／使いやすさ。他の金融機関にしてまたイチからやり方

を確認するのが面倒（49歳・女性）

楽天証券の場合、手続きのしやすさでも評価が高く、手数料、アプリの使いやすさなど全体的なバランスの良さが総合的な満足度として評価された結果となりました。

## ■店頭対応やカスタマーサポート体制についての満足度

### 1位 イオン銀行

2位 ゆうちょ銀行

3位 りそな銀行



#### ▶「イオン銀行」で、旧 NISA 口座を利用している人のコメント

近くに店舗がある（67歳・女性）／よくわからないなりに資産運用できていること（53歳・女性）／店舗に行かずに相談や手続きができ、アプリで管理できるので良い（60歳・女性）／資産運用が順調に進んでいます（53歳・女性）／比較的簡単に開設でき、少しずつですが、貯蓄できているようです（59歳・女性）／全てまとめると金利は良いし買い物に利用するポイントがついた（63歳・女性）／普通預金利率やユーザーランクが上がり、他行振込手数料免除などのメリットがある（31歳・女性）

イオン銀行は、店舗での相談にも対応しています。顧客対応と資産運用が連動し、口座開設後の運用実績や買い物に使えるポイント加算など、目に見える形でのリターンがあることに満足する声が多く見られました。

## ■口座維持費用や取引手数料などの費用についての満足度

### 1位 SBI証券

2位 楽天証券

3位 松井証券



## ■取扱商品についての満足度

### 1位 SBI証券

2位 楽天証券

3位 マネックス証券



#### ▶「SBI証券」で、旧 NISA 口座を利用している人のコメント

手数料が安い。銀行と連動している口座があるのでスイッチングができ便利（54歳・女性）／取扱商品が多く、サイト

も初心者向けのページもあり使いやすい。投資シミュレーションができるのも良い（31 歳・女性）／随時状況確認ができること、相場の変動がわかりやすいこと（50 歳・女性）／利用者が多い証券会社なので、アプリや手続きもシンプルにまとめられていて使いやすい（33 歳・女性）／ネット証券なので手数料が安い。電話でのサポートも手厚い（38 歳・女性）／何も分からなくても、投資を始められた。他社比較をしたことはないが、会員サイトは初心者にも分かりやすい作り（45 歳・女性）／手数料無料化を SBI 証券が一番に実践してくれてうれしい（46 歳・女性）

SBI 証券の利用者が満足している点は「口座維持手数料や取引手数料などの費用」と「取扱商品」。ともに、口座選びに際し、重視されるポイントです。利用者の声にも、手数料や商品の豊富さ、初心者にも使いやすいアプリやサポート体制を評価する声が多く見られました。

## 認知率

### ■ 新 NISA 口座開設ができる金融機関で知っているのは？

#### 1 位 ゆうちょ銀行

2 位 野村証券

3 位 三菱 UFJ 銀行



#### ▶ 「ゆうちょ銀行」で新 NISA を利用したいと回答した人のコメント

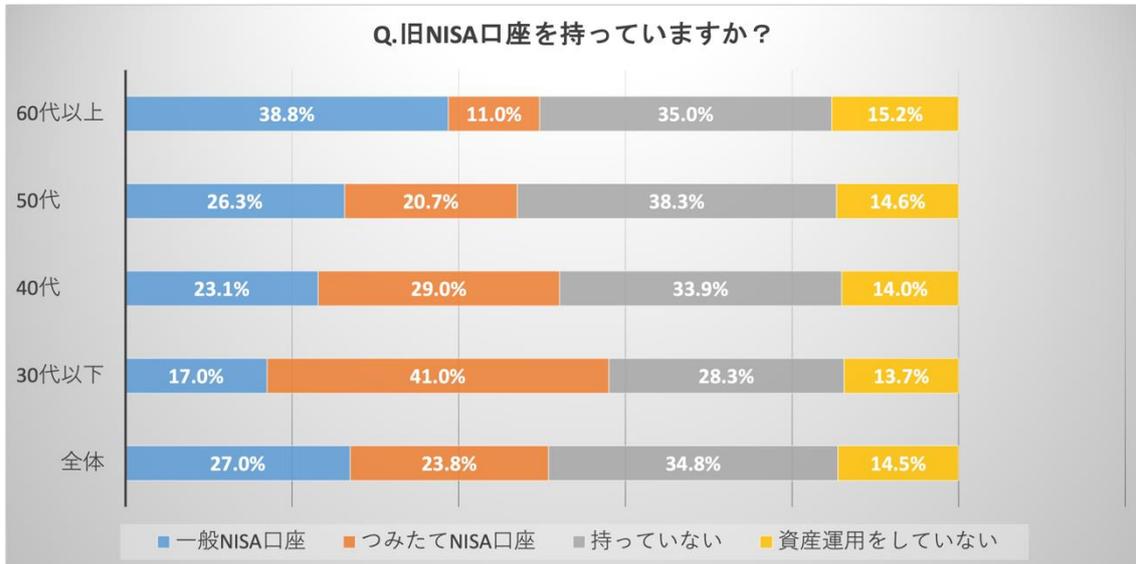
いつも丁寧に説明してくださるから（74 歳・女性）／地方なので、銀行に行くのに時間が必要。仕事をしているので行きやすいのが一番の理由（59 歳・女性）／自宅から近い日本どこに行っても支店がある（65 歳・女性）／家から近く利用に便利で相談しやすい（66 歳・女性）／いろいろ説明を受けて、今現在利用していて、わかりやすい（58 歳・女性）／最近、窓口で勧誘され資料をもらったから（62 歳・女性）／普通預金で使っている口座がある（50 歳・女性）

身近な金融機関の窓口として認知度 1 位の「ゆうちょ銀行」。その強みは、地域密着で窓口対応が可能な点と言えます。すでに預金口座や保険契約などがある場合、郵便局に出向いた際に資料などを手渡されることもあり、NISA を取り扱う金融機関として周知されています。

また、新 NISA 口座の開設を検討中の人だけを見ると、最も利用したい金融機関として「ゆうちょ銀行」が、24.8%で 1 位という結果が出ました。

## Research DATA

### ◆ つみたて NISA など、投資に積極的な世代は 30 代以下



NISA 口座を持っている人（一般 NISA 口座 27.0%、つみたて NISA 口座 23.8%）は合計 50.8%で全体のほぼ半数となりました。30 代以下は、つみたて NISA で資産運用をしている人が一般 NISA を大きく上回っています。口座を開設した後は、アプリで資産運用の確認ができたり、口座引き落としやクレジットカードで支払い設定をすることで投資を自動化できたり、手間をかけずに運用できる点が評価されています。

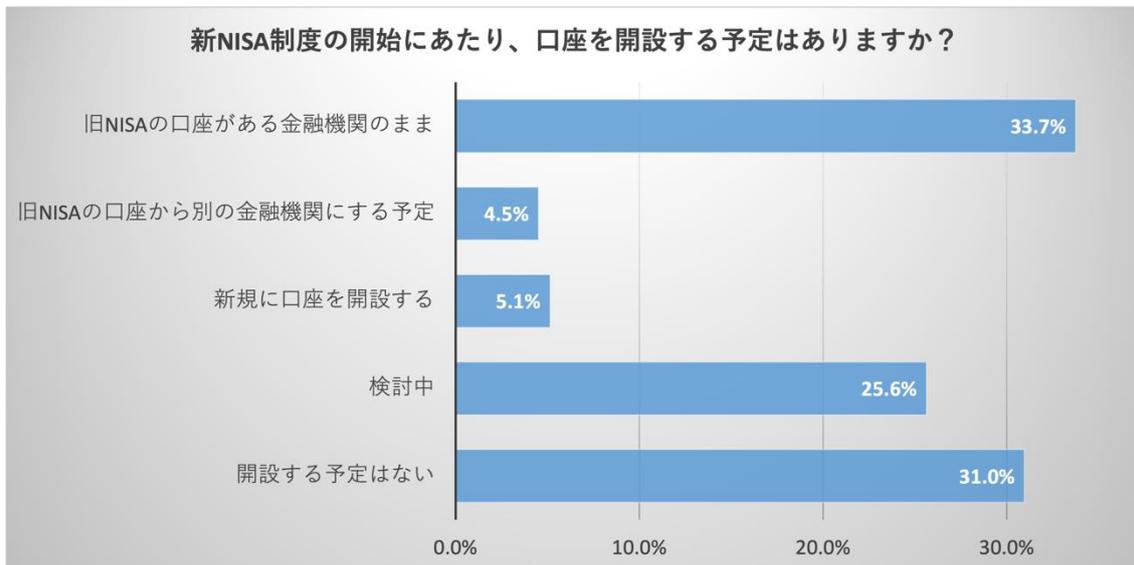
### 20 代・30 代でつみたて NISA を始めたきっかけは？

普通預金しかしてこなかったのですが、育休中にお金が心配になり、つみたて NISA をはじめました。トータルリターンもまあまあ増えて、やっていて良かったです（38 歳・女性）／つみたて NISA をカードで設定出来るので毎月入金する手間が省けて、勝手に運用される場所（35 歳・女性）／簡単に利用できたので、気になっていたつみたて NISA 口座をすぐに開設して使えたこと。（22 歳・女性）といったコメントがありました。

### 口座を持っていない 50 代にとっても、新 NISA の制度は気になるどころ……

50 代から始めるのは、若干遅いような気がして不安（53 歳・男性）／とにかく専門用語がわかりにくく、制度を安全に理解し自己責任でリスクを把握したうえで資産を運用するなど、ハードルが高すぎる（53 歳・女性）／ニュースで世間的には騒がれているが、なかなか具体的にはわからない。おトクそうだから、やってみたいという感じ（54 歳・女性）と、リスクがあることを理解しつつも、おトクそうだからやってみたいという気持ちの間にあるのが垣間見えます。

## ◆ 約 3 割が旧 NISA の口座がある金融機関に新 NISA 口座を開設



2023 年までに旧 NISA の口座がある金融機関では、2024 年からの新 NISA 口座は自動的に開設されます。「今、利用していて問題がない」「手続きが面倒だから」などの理由で、33.7%の人が、旧 NISA 口座がある金融機関で、新 NISA 制度を利用する傾向にあります。

### 新 NISA、検討中の人も、開設する予定がない人も、「きちんと知ってから始めたい」

検討中の人のコメントを見ると、新制度の内容があまりよくわからないので、もっと勉強してからやってみたい（50 歳・女性）／NISA について理解しないままきて、また新 NISA が？というところ。そもそも、なぜそれを利用しないといけないかという疑問しかないのです（59 歳・女性）／メリットやデメリット、利用の手順など分からないことが沢山あるので相談したいのですが、中立の立場で教えてくれる人が分からないのでなかなか利用に踏み切れません（46 歳・女性）と、慎重な意見が多数見られました。

また、今後も NISA 口座を開設する予定はないと回答した人は約 3 割。「損をするのではないか？」「元本割れ」などを懸念して、投資に踏み切れませんという声も。リスクを十分理解した上で投資を始めたいという思いは、検討中の人と共通しています。

【調査概要】2023 年 12 月 8 日～12 月 18 日、サンケイリビング新聞社公式サイト「リビング Web」会員、読者組織「リビングファン」会員への WEB アンケート。結果をもとに、独自の集計方法でポイント化し集計。調査対象は 31 社。

【回答者プロフィール】有効回答数 3772 人 / 平均年齢 51.4 / 全国 20 代～70 代の男女 女性 81.7%、男性 18.3% / 30 代以下 16.2% 40 代 25.9% 50 代 33.7% 60 代以上 24.2% / 独身 30.5%、既婚 69.5% ※ データは小数点 2 位以下四捨五入

#### 【調査対象】

##### ■証券会社（14 社）

au カブコム証券 / SMBC 日興証券 / SBI 証券 / SBI ネットトレード証券 / 岡三オンライン / GMO クリック証券 / 大和証券 / DMM.com 証券 / 野村証券 / 松井証券 / マネックス証券 / みずほ証券 / 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券 / 楽天証券

##### ■銀行・その他の金融機関（17 社）

イオン銀行 / SMBC 信託銀行 / オリックス銀行 / JA バンク / 住信 SBI ネット銀行 / ソニー銀行 / 第一生命 / 大和ネクスト銀行 / みずほ銀行 / みずほ信託銀行 / 三井住友銀行 / 三井住友信託銀行 / 三菱 UFJ 銀行 / 三菱 UFJ 信託銀行 / ゆうちょ銀行 / 楽天銀行 / りそな銀行 ※五十音順

■■■本リリース内容のご活用やお問い合わせ先■■■

株式会社リビングくらし HOW 研究所 担当 堀、藤田、古澤

info@kurashihow.co.jp

\*\*\*\*\*

■株式会社リビングくらし HOW 研究所

本社所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー36 階

電話 03-4332-7790（代表） <https://www.kurashihow.co.jp/>

女性市場に関する調査・分析、マーケティングコンサルティングなどを行うリビンググループのシンクタンク

■株式会社サンケイリビング新聞社

本社所在地 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー36 階

電話 03-4332-7741（代表） <https://www.sankeiliving.co.jp/>

暮らしに役立つ生活情報を発信するフリーペーパー「リビング新聞」、オフィスで働く女性に特化した共感型メディア「シティリビング」の発行をはじめ、新聞・雑誌の発行、インターネット等を含めたコンテンツ全般に関する事業を展開

\*\*\*\*\*